

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生理機能検査学Ⅲ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	野邊 八重子 ※
授 業 概 要					
政令で定める生体機能検査を円滑に実施するための知識を修得する。生体機能情報を収集するための理論と実際、そして結果の解析と評価をできるようにする。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。 ・測定目的、原理、操作方法、アーチファクトを説明できる。 ・測定結果の判読法を学び臨床的意義を説明できる。 ・測定機器の原理、構造を説明できる。 					
実務経験のある教員					
野邊 八重子、外山 竹弥：病院での臨床経験を踏まえ、循環器系の検査（心電図、心音図、脈管系検査等）の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	循環器系の検査の基礎：心臓の構造と機能				野邊 八重子 ※
2	心電図検査Ⅰ：心電図の発現機構、心電図波形の成り立ち				
3	心電図検査Ⅱ：心電計の構造と取り扱い、誘導法				
4	心電図検査Ⅲ：正常心電図				
5	心電図検査Ⅳ：異常心電図				
6	心電図検査Ⅴ：異常心電図				
7	心電図検査Ⅵ：異常心電図				
8	心電図検査Ⅶ：心電計				
9	心電図検査Ⅷ：運動負荷心電図、ホルター心電図				
10	心電図検査Ⅸ：外来、病棟、手術室など医療現場における多様なニーズ 手術室などでの生体情報モニタリング				
11	心音図検査Ⅰ：心音の成因と性質、心音計				外山 竹弥 ※
12	心音図検査Ⅱ：異常心音図				
13	脈波検査Ⅰ：動脈硬化検査（ABI、PWV）				
14	脈波検査Ⅱ：その他循環器検査				
15	脈波検査Ⅲ：血管内皮機能検査				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料を用いた授業を行う。 ・事前に関連部分の教科書を読んで予習しておくことが望ましい。 ・講義後に配付資料と教科書の関連部分を読んで復習すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は教育上不利益にならないよう考慮する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子 他 医歯薬出版 [資料] 配付資料					